

# 「ビールはびんのものを買おう」



木原浩貴 (気候ネットワークスタッフ・財団法人 省エネルギーセンター 省エネルギー普及指導員)

まだまだ暑い日＝ビールがおいしい日が続いていますね (たぶん・・・注：原稿執筆は9月上旬です)。

みなさんのご家庭でビールを飲まれるとき、どんな容器に入ったものを選びますか？缶でしょうか、瓶でしょうか。

アルミ缶は「電気の缶詰め」と形容されるほど、その作成に多くの電気が使われています。一方、ビール瓶は洗って何度も繰り返し使うことができるので、エネルギー消費量はぐっと少なくて済みます。確かに瓶より缶の方が軽くて持ち運びも楽ですし、「瓶だと量が多すぎる、一口サイズの缶ビールがちょうどいい！」などの理由もあるとは思いますが、瓶と缶、どちらでもいい場合はぜひ瓶を選んでください。家庭での省エネのように家計の節約に直接はつながらないかもしれませんが、大変大きな省エネになります。

「リターナブル瓶は、洗浄に大量の水を消費するので、かえって環境に良くないのでは？」と思われるかも

しませんが、ライフサイクル比較すると、リターナブル瓶はペットボトルやアルミ缶に比べて水の消費量もかなり少なくて済みます。

なお、同じ瓶でもワンウェイ瓶(一回使い切りの瓶)は、リサイクル時に高温で溶かすことになり、エネルギー消費量は非常に多くなってしまいます。ライフサイクルで比較すると、アルミ缶よりも多くの二酸化炭素を排出してしまうようです。やはり、いくらリサイクルできるといっても、使い捨ての容器は使わないのが一番ですね。

物を作るとき、そしてリサイクルするときにもエネルギーが必要です。家庭での節電・節水などの取り組みも、物を買うときに省エネの視点で製品を選ぶ取り組みも実践してみてください。それは、エネルギー消費量の少ない製品の優先的な開発・販売を応援することになり、省エネ型の社会づくりにもつながります。

## 平 15 年度京滋地球環境カレッジ報告

主催：京都府、滋賀県

### 第3回「体験して見よう！自然エネルギー」

8月9日(土) (担当きょうとグリーンファンド)

午前・あけぼの保育園(台風10号の影響で中止)

午後・キャンパスプラザ京都(13;30~16;30)

最初にきょうとグリーンファンドについて大西事務局長が紹介。つづいてメインテーマ「自然エネルギー入門」を講師の林敏秋さんがパワーポイントを使ってユーモアを交え話され好評だった。途中屋上に上がりまだ台風の余波を感じる中、太陽光発電関連施設を見学した。

## 京都府より「環境トップランナー賞」

受賞しました

去る6月19日京都府開庁記念日に合わせ標記、環境トップランナー賞を受賞しました。

この賞は環境の保全や創造に向けた先駆的・先進的な取り組みを行い府民の環境配慮行動に多大な影響を与え事業者及び団体に対し送られるのだそうです。きょうとグランド他2団体が受賞しました。



## はじめまして・・・竹村周子です

心地よい風を感じながら“うーん、やっぱりこの季節は最高”とうれしくなるこの頃です。

5月よりきょうとグリーンファンドの事務所でお世話になっています。小さな“オフィス”。でも、このファンドを支えてくださる団体、個人の方がたくさんおられます。その把握だけでもまだ大変な日々であります。自然に守られながら行われる私たちの生活、その自然からのエネルギーをもらい、より心地よい町、地球環境を残していけるような活動に私も加えていただきたいと思います。どうぞよろしくお願いします。

